

問5 最終処分場は海外では決まっているのですか。

答5 スウェーデンとフィンランドでは決定しています。

この両国以外では技術的課題が解決されても、いざ最終処分場の建設となると、その地域の反対運動により、最終処分場に関する合意形成はなされていません。

—海外の放射性廃棄物の処分に関連する質問と回答—

知識電車

問5-1 海外における使用済燃料の処分方法は、どうなっているのですか。

回答：海外では、使用済燃料を再処理せずに処分する方法（「直接処分」という）と、再処理後の廃液ガラスと一緒に固化した「ガラス固化体」にして処分する方法（「最終処分」という）が進められています。

使用済燃料を再処理せずに深地層に直接処分する国は、スウェーデン、フィンランド、スイス、カナダです。使用済燃料を再処理して「ガラス固化体」にしてから深地層に処分する国は、フランス、ドイツです。しかし、計画見直し作業中の国（米国、英国など）もあります。世界の動向も見守っていきましょう。

国	実施主体 建設予定地	処分方針	建築許可 申請等	現状	備考
スウェーデン	SKB社 フォルスマルク	再処理せずに 地層処分	2011年3月	安全審査中	地下 約500m
フィンランド	ポシヴァ社 オルキオ 「オンカロ」	再処理せずに 地層処分	2012年12月	安全審査中	地下400m ～450m
フランス	ANDRA ビュール地下研	可逆性のある 地層処分	2017年頃提 出予定	2025年頃操 業開始予定	地下500m
ドイツ	BfS 未定	直接処分・ ガラス固化体		2031年頃 サイト決定	仕切り直し

スイス	NAGRA 地質学的候補 エリア(3箇所)	直接処分 / 地 層処分(未定)		地上施設を 住民等で検 討中	
英国	NDA 未定	地層処分	2008年公募 開始	選定プロセ スの見直し 中	仕切り直し
カナダ	NWMO 未定	直接処分・ 段階的管理	2010年サイ ト選定開始	21地域サイ トの絞り込 み中	
米国	DOE ユッカマウンテ ン	直接処分 ガラス固化体	—	安全審査段 階(中止予 定)	仕切り直し

図表4-3 諸外国における高レベル放射性廃棄物処分の状況

問5-2 諸外国でも最終処分場の運転実績はないのですか。

回答：長期間に亘る当事国の努力により、最終処分場の計画や建設が進められています。ただし、そこに埋設される放射性廃棄物の多くは直接処分される使用済燃料です。これは段階的な技術開発の考えに沿ったものだと考えられます。最終処分場問題が難航しているのは、ひとえに一般国民や地元住民の理解が十分得られていないことによります。

問5-3 最終処分場が決まらないのは、なぜですか。

回答：技術的課題が解決されても、いざ最終処分場の建設となると、建設反対の住民運動（N I M B Y：Not in my backyard 処分には賛成でもわが家の裏庭では困る！）が起きます。諸外国のほとんどの国で最終処分場に関する合意形成は依然として十分にはなされていません。

→豆知識1～5 (p.90～91) 【出典】 p.94